**研究指導計画書・報告書**（別紙様式）

令和　　年　　月　　日

大学院創成科学研究科　　　　　　　　　専攻　　　　年

学生番号　　　　　　　　　　　　　　氏名

主指導教員名　　　　　　　　　　　　副指導教員名（自専攻）　　　　　　　　　　　　副指導教員名（他専攻）

アドバイザー教員名

研究題目

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　次 | | **研究指導計画** | | **研究指導実施報告** | |
| 履修予定授業科目 | 研究計画 | 研究実施経過報告 | 指導教員のコメント |
| 年次 | 前期 |  |  |  | 主指導教員名  面談日  副指導教員名  面談日  副指導教員名  面談日  アドバイザー教員名  面談日 |
| 後期 |  |  |  | 主指導教員名  面談日  副指導教員名  面談日  副指導教員名  面談日  アドバイザー教員名  面談日 |

**本計画書・報告書により，教育部の研究指導方針に基づいて，研究指導が実施されていることを確認する。**

※研究指導計画（「履修予定授業科目」及び「研究計画」）及び研究実施経過報告は主指導教員・副指導教員の指導に基づき作成し，学生が記載する。

※研究実施経過報告：研究指導の進捗状況，実績，成果等を記載

※指導教員のコメント：学生の取組み状況，指導内容，指導計画の変更等を主指導教員，副指導教員及びアドバイザー教員が記載

※副指導教員及びアドバイザー教員は少なくとも半年に一度は面談等を行い，所見等を記載する。

※他研究科・教育部の教員が副指導教員及びアドバイザー教員になる場合は，「徳島大学における学部及び大学院の学生の研究指導について（平成２８年１０月１９日大学教育委員会決定）に基づき，手続きすること。

※面談等は電話やメール等による連絡でも可とする。

※研究指導計画書・報告書は各年次の開始時から作成し，各年次の終了時に学務係に提出する（最終年次は学位論文提出までに提出する）。提出された研究指導計画書・報告書は，プログラム評価委員会等で随時確認し教育の質向上に役立てる。また，学位審査時に確認する。

**【 記載例 】**（別紙様式）

**研究指導計画書・報告書**

大学院創成科学研究科　　　　　　　　　　　　　専攻　　　　年

学生番号　　　　　　　　　　　　　　氏　　名

主指導教員名　　　　　　　　　　　　副指導教員名（自専攻）　　　　　　　　　　　　副指導教員名（他専攻）

アドバイザー教員名

研究題目

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　次 | | **研究指導計画** | | **研究指導実施報告** | |
| 履修予定授業科目 | 研究計画 | 研究実施経過報告 | 指導教員のコメント |
| 年次 | 前期 | ○○理論  △△演習  □□特論  １年次前期の  研究計画に  記載をお願い  します。 | １　研究テーマの設定をする。  ２　倫理教育を受講する。  ３　実験計画立案をする。  ４　抄読会に参加し，論文の読解指導を受ける。  ５ 研究設備・機器等使用法の実地指導を受ける。 | １　研究テーマを「○○○○」と設定した。  ２　eAPRIN（旧CITI）プログラムを受講した。  ３　研究テーマにそった文献を収集した。  ４「○○○○」の手法を学習し，概ね1人で実行できるようになった。 | 主指導教員名  面談日  １　研究テーマについて助言した  ２　文献収集に助言した。  副指導教員名  面談日  １　データ収集について助言した。  ２　文献収集に助言した。  副指導教員名  面談日  １　データ収集について助言した。  ２　文献収集に助言した。  アドバイザー教員名  面談日  １　研究環境について確認を行なった。 |
| 後期 | □□論  △△特別演習 | １　実験等の実地指導を受ける。  ２　関連学会・研究会等に参加し，当該分野の視野を広げる。  ３　実験等データの解析と解釈に関する指導を受ける。 | １　中間発表会で「○○」について助言を受けた。  ２　「○○」学会に参加し，意見交換を行った。 | 主指導教員名  面談日  １　「○○」学会に参加するよう助言した。  副指導教員名  面談日  １　結果のまとめ方を助言した。  副指導教員名  面談日  １　結果のまとめ方を助言した。  アドバイザー教員名  面談日  １　研究環境について問題がないことを確認した。 |

その他　研究計画記載例：

･標準修了年限（○年）による修了（修了予定年月日：〇〇年〇〇月）を目指し，〇〇研究遂行及び学位論文の作成にかかる研究指導を受ける。（早期修了・長期履修・留学等についても記載。）

･定期的（通常では毎週）に研究室のゼミを受講し，論文輪読や研究の進捗状況に関する発表会において，研究分野や関連する分野に関する知識の習得をするとともに，研究遂行上の助言，研究の進め方についての助言，指導等を受ける。（通常の指導の概要を記載。）

・中間発表においてその時点までの研究内容のまとめを発表し，主指導教員以外の教員からの助言を参考に研究内容の再点検，振返りをする。

・研究成果を学外の学会等で発表することを目標とし，幅広い研究者からの意見を取り入れることで，研究の完成度を高める方法について指導を受ける。

・研究成果をまとめ学術雑誌において発表するため，論文の内容だけでなく，投稿論文の作成，投稿，査読者との対応など，論文掲載に至るプロセスにおいて適宜指導を受ける。

・普遍的な研究倫理観を醸成するためにAPRIN eラーニングプログラム（旧ＣＩＴＩプログラム）を受講する。

（研究指導において，研究倫理教育を行うことを必ず記載。）

・主指導教員の担当授業のTA，研究のRAへ参加し，学生の指導を通じてコミュニケーション能力やリーダーシップ能力を高める